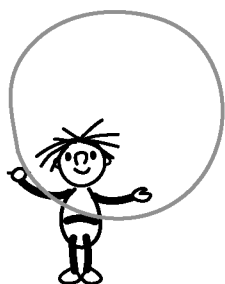


- 1) これと同じ「まあい」形を描いてみよう」と、閉じた円を描かせる。二重三重のなぐり書きでない円。
- 2) 書けなければ円を書いてみせ、ふりなぐり書きさせる。
- 3) 極端な楕円は円に近づけるように試行。

- a) 図形の認知。目と手の協応(=器用さ)
- b) なぐり書きから意図した線書きへ。
- c) 描画としては、幼児は円で何を表す=根源的な円。
- d) 子よによって形を暗示する言葉の使用を避けるものもあるが、ここでは「まあい」形を併せ教える。

Date /
Note /
評

おなじような「まあい」かたちを かいてみよう。
